

どうしよう? 私の ライフ・キャリア

—これからのキャリア教育を考える—

雇用・生き方が多様化する現代は、自分で未来を切り拓く力がますます求められています。児童生徒が自己理解を深め、ライフ・キャリアを見通し、生き方を選択できるようになるには、学校教育に何が求められているのでしょうか。

●開催日時

2017年1月21日(土)

早稲田大学 14号館102教室

[13:30 - 16:30] 13:00 受付開始

※入場料無料・事前申込 定員100名

申し込みが人数に達した際は、入場できない場合があります。

●企画者の言葉

大学時代、就職活動にあたって「自分がやりたいことがわからない」と悩んでいる友人を何人も見てきました。雇用・生き方の多様化にともない、児童生徒が生き方を選択するためのキャリア教育がますます求められています。今、学校教育は児童生徒たちに何が出来るのでしょうか。ぜひ、一緒に考えてみませんか?

早稲田大学大学院教職研究科修士2年 増田 真裕花



●プログラム

【第1部】 基調講演

三村 隆男 氏 「ライフ・キャリアとキャリア教育」

(早稲田大学大学院教職研究科 教授、日本キャリア教育学会 会長、アジア地区キャリア発達学会 会長)



24年間の高校教師を経て、上越教育大学講師、准教授。この間、小学校・中学校スクール・カウンセラーを8年間務める。2008年より現職。現在は、学校教育における児童生徒のキャリア教育及び教員養成・研修における教師のキャリア形成について研究をすすめる。厚生労働省労働政策審議会職業能力開発分科会委員。

【第2部】 講演

浦部 ひとみ 氏



「学校の実態から考える
—“いま”を生きる高校生の現状と課題—」

(東京都立青井高等学校 主幹教諭(進路指導主任)
東京都高等学校進路指導協議会 事務局長
全国高等学校進路指導協議会就職指導研究会委員)

秋山 和子 氏



「外部連携から考える
—小・中学生が“将来を考える”とき—」

(KCJ GROUP株式会社 ブランディング部
アカデミーグループ 兼 キッズニア事業本部
スポンサー部 マネージャー)

関戸 塩 氏



「地域連携から考える
—“当事者目線”で語るライフ・キャリア—」

(株式会社琉球新報社 編集局NIE推進室 副部長
那覇地区PTA連合会 会長)

定時制高校での15年の勤務の後、足立区内の都立高校2校を経て平成25年度より現職。「人間と社会」の教科書を執筆。東京都教育委員会高等学校教育開発委員会「人間としての在り方生き方に関する教育」部会委員、文部科学省「これからの専修学校教育の振興のあり方検討会議」委員、平成28年度文部科学省委託事業「職業実践専門課程の実態等に関する検討会議」委員を歴任。

博士(理学)を取得後、外資系航空会社を経て、こどもの職業・社会体験施設 キッズニアを運営するKCJ GROUP 株式会社に入社。現在は、キャリア教育に関するプログラムの企画やこどもの体験効果に関する研究を大学と共同で行っている。

中学卒業時点では進路が決まらず無職の状態だった。通信制高校から琉球大学に進み、現在は新聞記者として子どもたちに新聞関連講座を行う。キャリア教育としても沖縄県内の学校を回り、旅や八重山芸能との出会いなどを踏まえ「みんな悩んで大きくなる」と語る。小学校のPTA会長を4年務め、那覇地区PTA連合会会長としても活躍している。

【第3部】 パネリストごとの分科会によるワークショップ 「これからのキャリア教育を考える」

【第4部】 総括討論、全体講評

●申し込み先



ウェブページ <https://goo.gl/forms/yFEBePXbcBSD8hkK2>
(左のQRコードからも読み込めます)
FAX 03-5286-1469
早稲田大学大学院教職研究科有志 <http://waseda55.jimdo.com>

●お問い合わせ先

waseda.kyoiku55@gmail.com
「どうしよう? 私のライフ・キャリア
—これからのキャリア教育を考える—」
シンポジウム実行委員会